

⑤ スーパー中核港湾への物流を支援します。

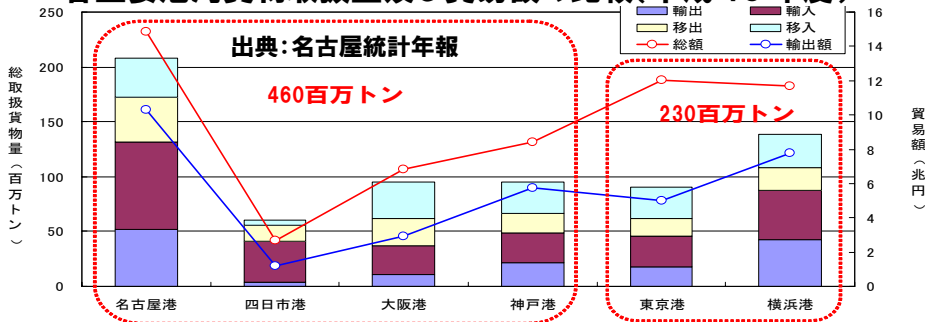
名古屋港、四日市港、大阪港、神戸港の総取扱貨物量は、東京港、横浜港の約2倍で、各主要港湾の約7割を占めています。

滋賀県のコンテナ貨物量は、平成10年に比べて平成15年には1.3倍に増加し、特に四日市港、大阪港での取扱量が増えています。

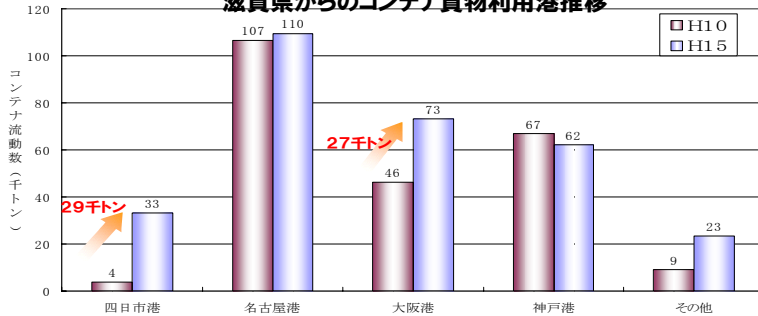
新名神の開通で、高速道路と4つの港湾の連携が強化され、輸送時間の短縮、定時制の確保により物流を支援します。

また、名古屋港、四日市港、大阪港、神戸港の移動時間圏域が拡大します。

各主要港湾貨物取扱量及び貿易額の比較(平成18年度)

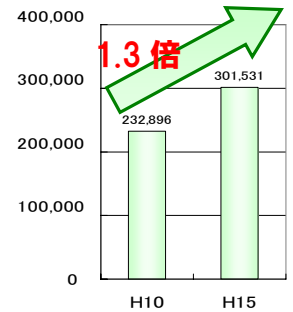


滋賀県からのコンテナ貨物利用港推移



出典:四日市港外貨コンテナ流動等調査

滋賀県のコンテナ貨物量



名古屋港、神戸港からの移動時間圏域が拡大

NEXCO西日本資料



黄色 : 現在の2時間移動圏
 緑色 : 新名神高速道路開通後の2時間移動圏の増加範囲



黄色 : 現在の2時間移動圏
 緑色 : 新名神高速道路開通後の2時間移動圏の増加範囲